

## 枝・幹に発生する病害

### ⑦根頭がんしゅ病



発病樹は幹や枝にがんしゅ（こぶ）を生じて樹勢が弱る。がんしゅの形成により養水分の流動が妨げられるため、やがて衰弱し、枯死に至る。凍害や作業による傷口は発病を誘発する。